作成日：2012/06/29
改訂日：2026/05/08

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名　：アミドブラック 10B 低臭
会社名　：クリーンケミカル株式会社
住所　：大阪府高槻市成合南の町 4-1
担当部門　：品質・薬剤管理課
電話番号　：072-668-7364
FAX 番号　：072-668-7369
技術部門　：技術開発部
電話番号　：072-634-6470
FAX 番号　：072-636-6591

推奨用途　：業務用染色剤
使用上の制限　：推奨用途に限定する。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類
物理化学的危険性
引火性液体：区分 3
金属腐食性化学品：区分 1
健康に対する有害性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2
生殖毒性：区分 1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1（肝臓）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2（中枢神経系）
GHS ラベル要素
絵表示



注意喚起語：危険
危険有害性情報
H226 引火性液体及び蒸気
H290 金属腐食のおそれ
H319 強い眼刺激
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
注意書き
安全対策
P203 使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P234 他の容器に移し替えないこと。
P240 容器を接地しアースをすること。
P241 防爆型の電気/換気/照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。
P264 + P265 取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置
P370 + P378 火災の場合：消火するために指定された消火剤を使用すること。

P390 物的被害を防止するために流出したものを吸収すること。
P318 ばく露又はその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。
P319 気分が悪い時は、医療処置を受けること。
P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
接触部位を水又はシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P317 眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。

保管
P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

物理的及び化学的危険性
燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
化学名又は一般名 ： 酢酸、水溶性溶剤、有機酸、アミドブラック10B、水

成分名	濃度 (wt%)	安衛法	化管法	毒劇法
エタノール	48 - 52	表示・通知物質	非該当	非該当
酢酸	< 1	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の場所に移し、うがいをし、安静・保温に努める。異常を感じるならば医師の処置を受ける。
皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば医師の処置を受ける。
眼に入った場合
こすらずに直ちに流水で 15 分間以上洗眼(眼球とまぶたの隅々までよく洗う)し、医師の処置を受ける。
コンタクトレンズを着用しており、容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
飲み込んだ場合
口の中を水で洗い、水又は牛乳を飲む。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤
水溶性液体用泡(耐アルコール泡)、二酸化炭素、粉末、乾燥砂などを用いる消火剤は使用できる。
使ってはならない消火剤
データなし
火災時の特有の危険有害性
データなし
消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
容器周辺の火災の場合、容器を安全な場所に移動させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
消火作業従事者は適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
適切な保護具を着用する。関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項
漏出された製品が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩した液は出来るだけ回収し、残りはウエス、ぼろ布等に吸収させて焼却する。

回収できない液は、多量の水で充分に希釈して洗い流す。
多少刺激臭がある為、漏洩が生じたことを知らせる等の適切な措置を行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
必要な個人用保護具を使用する。
(注意事項)
皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。
煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。
換気のよい場所でのみ取り扱う。
酸性液体のため、金属を変色させたり錆びさせたりすることがある。
安全取扱注意事項
必要な個人用保護具を使用する。
転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。
接触回避
データなし
衛生対策
取扱い後は手、汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。
保管
安全な保管条件
換気の良い場所で保管すること。
高温・直射日光を避けた涼しい所に密栓して保管する。
子供の手の届かない場所に保管する。
避けるべき保管条件
日光、熱。金属容器。(金属腐食のおそれがある)
安全な容器包装材料
データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等
管理濃度及び濃度基準値

(酢酸)		濃度基準値 STEL: 15ppm

職業ばく露限界値

(酢酸)	日本産業衛生学会	10ppm; 25mg/m3
	ACGIH	TWA: 10ppm; STEL: 15ppm (上気道及び眼刺激; 肺機能)
(エタノール)	ACGIH	STEL: 1000ppm (上気道刺激)

ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
室内で取扱う場合、適切な排気装置を設け、管理指標以下に保つ。
取扱い場所の近くに、手洗・洗眼・身体洗浄のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具
保護具は、実際の使用方法や使用環境を考慮し、保護具メーカーの提供情報や厚労省が公表している耐透過性能一覧表を確認して選定すること。

呼吸器の保護具	保護マスクを着用する。
手の保護具	不浸透性の保護手袋等を着用する。
眼及び顔面の保護具	不浸透性の保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて、不浸透性の保護長靴、保護服、前掛を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 濃青色
pH	: 2.8 (原液)(代表値)
密度及び/又は相対密度(比重)	: 0.93 (25℃)(代表値)
臭い	: 特有の臭い

融点/凝固点	：データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	：初留点>35℃
可燃性	：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	：データなし
引火点	：データなし
自然発火点	：データなし
分解温度	：データなし
動粘性率	：データなし
溶解度	：水、湯に相溶する。
蒸気圧	：データなし
相対ガス密度	：データなし
その他	：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性　　データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件では安定である。

アルカリ性物質と中和反応し、熱を生じる。

危険有害反応可能性

ステンレス(SUS304,316)以外の金属器具(銅、アルミニウム、真鍮等)は変化をきたす場合があるので、予め試験をしてから使用する。

避けるべき条件

日光、熱

混触危険物質

次亜塩素酸ナトリウムなどの塩素配合物と混合すると有毒ガスが発生するので、絶対に混合してはならない。

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

(エタノール)　　ラット LD50: 7000 - 11000 mg/kg

(酢酸)　　ラット LD50: 3310 mg/kg

急性毒性（経皮）

(エタノール)　　ウサギ LDLo: 20000 mg/kg

(酢酸)　　ウサギ LD50: 1060 mg/kg

急性毒性（吸入）

(エタノール)　　蒸気: ラット LC50: 63000 ppmV

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

(酢酸)　　区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

(エタノール)　　区分 2B

(酢酸)　　区分 1

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

有用な情報なし

皮膚感作性

有用な情報なし

生殖細胞変異原性

有用な情報なし

発がん性

(エタノール)[ACGIH] A3: 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

生殖毒性

(エタノール)　　区分 1A

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

(エタノール)　　区分 3（気道刺激性），区分 3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）
（エタノール）　区分 1（肝臓），区分 2（中枢神経系）
誤えん有害性
有用な情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)
（エタノール）　藻類（クロレラ）96 時間 EC50：1000 mg/L
甲殻類（オオミジンコ）48 時間 EC50：5463 mg/L
魚類（ニジマス）96 時間 LC50：11200 ppm
（酢酸）　甲殻類（オオミジンコ）48 時間 EC50：65000 μg/L
水生環境有害性 長期(慢性)
（エタノール）　甲殻類（ニセネコゼミジンコ属の一種）10 日間 NOEC：9.6 mg/L
残留性・分解性
（エタノール）　急速分解性あり（分解度：89%（by BOD））（出典：NITE）
（酢酸）　急速分解性あり（分解度：74%（by BOD））（出典：NITE）
生物蓄積性
（エタノール）　log Pow：-0.32（出典：ICSC，2018）
（酢酸）　log Pow：-0.17（出典：NITE）
土壌中の移動性　有用な情報なし
オゾン層への有害性　有用な情報なし
その他情報　有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。
本剤は酸性です。使用液(希釈液等)の排出の際は大量の水と共に廃棄するか、アルカリ性物質で中和処理後、多くの水と共に廃棄する。大量の場合は廃棄物処理業者に廃棄依頼する。
汚染容器及び包装
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件
輸送に関しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。
環境有害性
海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当
環境有害性物質/混合物（該当/非該当）：非該当
国際規則
国連番号/国連分類　UN2924／クラス 3（その他の引火性液体、腐食性、N.O.S.）容器等級 Ⅲ

15. 適用法令

労働安全衛生法　：名称表示危険/有害物　エタノール
名称通知危険/有害物　エタノール
毒物及び劇物取締法　：非該当
化学物質排出把握管理促進法：非該当
消防法　：非該当
船舶安全法　：引火性液体類 分類3
航空法　：引火性液体 分類3

16. その他の情報

参考文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2026 TLVs and BEIs. (ACGIH)

http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
JIS Z 7252 : 2025
JIS Z 7253 : 2025
Supplier's data/information

責任の限定について

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データなどに基づいて作成しておりますが、必ずしも十分な情報ではない可能性があり、新しい知見によって改訂される事があります。また、通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
本データシートの目的は当該製品を安全に取扱って頂くため情報を提供するものです。法的な要求事項を除き、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。また、ここに記載されたデータは製品仕様とは異なり、情報の正確さ、安全性について何ら保証するものではありません。
ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE-CHRIP)(令和 6 年度 (2024 年度) 公表分まで))です。
但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。